

子育て支援センター



梅野よしみ 保育士



「ひまわりのたね」だより

【問合せ先】子育て支援課 子育て支援係 ☎65・0081

■さあ、はじまるぞー!

4月になりました。『ひまわりのたね』も新年度のスタートです。今年はどうなあそびをしようかと話し合いをしていると、「さあ、はじまるぞー」の気分になります。

あそびに来てくれる親子にゆっくりあそべる環境を作ることはもちろんですが、子どもたちを楽しい遊びの中に導く案内人になりたいと思います。

小さい子は、他の子のあそびや動きをとっても興味深く見て「わたしも」と言うようにハイハイして近づいたり、声を出す子もいます。その姿に気づいて喜ぶお母さん。

そうなんです!「ともだちっていいね」と親子で感じてもらえるとき、ここにいられて良かったと思います。

少し大きくなって言葉も出て、自分の思いも出すようになると遊具の取り合いも見られます。それも、ともだちが

いてこそ!楽しい、おもしろい、悲しいなども経験して成長してくれることを望みます。

子育ては、楽しみも悩みもあります。ひまわりのたねに来てくれる親子と関わりながら私たち自身がともに楽しんだり、悩んだりしていきたいと思います。

いろいろなあそびや子育て支援講座も計画しています。まずは、気軽に部屋をのぞいてみてください。



「ねえマヨネーズおいしい?」

子育て支援センター「ひまわりのたね」

- 【開館】月～金曜日 9～16時
- 【場所】総合福祉センター「ひまわりの里」内
- 【対象】0歳から未就学の子どもとその保護者
※利用には保護者の付き添いが必要です
- 【利用料】無料



山路敦子 館長

人権だより

【問合せ先】桂川町人権センター ☎65・1187

■「ピーカーの底の泥」状態は自分自身!?

人権・同和問題地域懇談会を今後どのようにすれば、町民の皆さんに参加してもらえるのか、またどのような進め方や手法を取り入れると、参加者の皆さんと一緒に学習できるのかという思いで昨年度の人権教育コーディネーター養成講座に参加しました。

私は、隣保・人権同和教育係の担当者として、人権意識は少なくとももっているつもりでしたが、何と!!私自身の中にも差別心が潜んでいることにこの講座で気づかされました。正に、昨年の市民講座「人権講演会」で講師の川口泰司さんが言われた「ピーカーの底の泥」(3月末に配布した「けいかん」に掲載)の状態です。

日頃は沈殿しているのですが、自分の差別心は「見えない」けど、かき混ぜること(=学習すること)で見えてくるのですね。私は、このコーディネーター養成講座で「ピーカーの底の泥」をかき混ぜてもらったということです。人

権・同和問題を改めて学習したのだと思います。

■豪雨被災地での発言も同じ…

広報けいせん3月号に掲載した「桂川中学校生徒が、九州北部豪雨被災地で体験した(=なぜ、ここが同和地区だと教えてくれなかったのか!」とボランティアに来た人が係の人に言う場面に出くわしたこと)話も同じことが言えますね。ボランティアに来た人です。日頃は「差別はいけないこととわかっている。自分は差別などしていない」と思っている人だったかもしれない。ピーカーの底に泥がたまった状態だったのでしょ。やはり、人権・同和教育は必要なんだと思います。私も含め、ピーカーの底に泥がたまっている人のためには、時々かき混ぜる(=学習すること)が大切ですね。

7月開催の市民講座「人権講演会」や、10月から開催の人権・同和問題地域懇談会に参加して、ピーカーの底の泥を一緒にかき混ぜましょう!!

担当者としても、人権教育コーディネーター養成講座で学んだことを活かせるように頑張ります。